



セキュリティ対策が追いついていないと感じている担当者様へ

アクセス制御と誤送信メール対策を
オールインワンで実現するHENNGE One

はじめに

今、社会全体でDXが推進され、リモートワークの普及や働き方改革が叫ばれています。それを支える様々なクラウドサービスの導入も進み、それに伴うセキュリティリスクの高まりが懸念されています。企業の機密情報や個人情報への不正なアクセス、漏えい事故は後を絶たしません。DX推進は重要な取り組みである一方、セキュリティ対策を欠かすことができないものです。しかし、複雑化するセキュリティ対策への対応は企業の負担となってきました。

本資料では、セキュリティ運用の負担を減らす方法をご紹介します。

CONTENS

増える企業のSaaS活用。それに伴うセキュリティ対策の負担増

複数のSaaSを活用することが当たり前	3
不正アクセス、メール誤送信による情報漏えい事故は後を絶たない	4
セキュリティ対策が企業の負担に	5

アクセス制御とメール誤送信対策をワンパッケージで提供する

HENNGE One

SaaS活用が進む企業のセキュリティ強化の第一歩	7
アクセス制御を実現するHENNGE IdP Editionの5つの機能	8
メール誤送信リスクを低減するHENNGE E-MAIL Security Editionの5つの機能	9
HENNGE Oneのポイント	10

HENNGE Oneに関するテクバンの支援

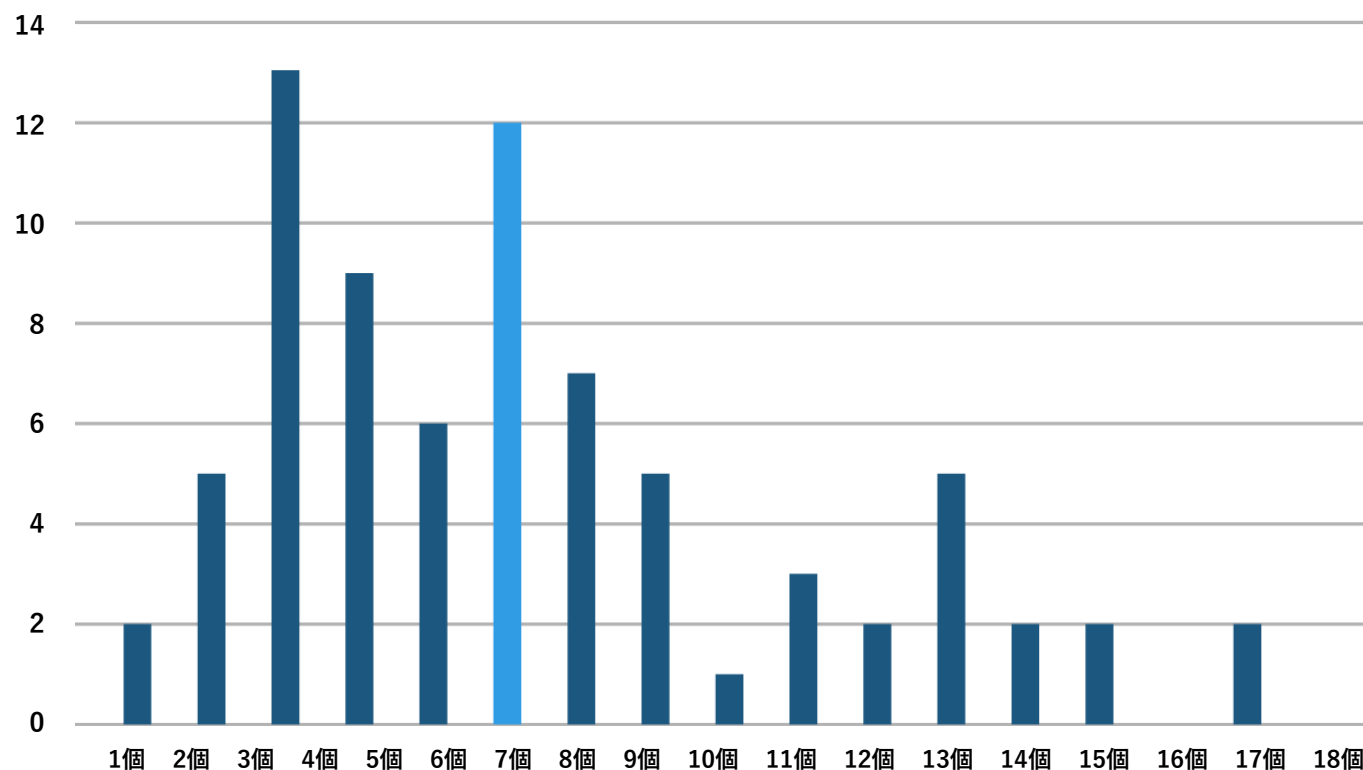
テクバンの HENNGE One導入・運用支援のメリット	12
Microsoft 365の導入・運用支援はテクバンにご相談を！	13

複数のSaaSを活用することが当たり前

業務効率化を行う多くのサービスが展開中

DX推進やリモートワークの増加などを背景に、多くの企業が複数のクラウドサービスを活用するのが当たり前になっています。

SaaSに関する利用調査によると、9割以上の企業が4つ以上のSaaSを導入しています。グループウェアや経費精算、勤怠管理、オンラインストレージなど、最低限の導入にしているつもりが、各事業部でSFM/CRA、BI、採用管理などの専門ツールを入れることもあるでしょう。いつの間にか多くのサービスを利用している企業も多いのではないのでしょうか。10以上のSaaSを利用している企業も24%も存在し、いまでは複数のSaaS利用をすることは当たり前になっていると言えます。



出典：導入しているSaaSの数-企業のSaaS利用に関する調査結果 HENNGE社
https://hennge.com/jp/info/news/saas_2019.html

SaaS活用が進む企業のセキュリティ強化の第一歩

アクセス制御とメール誤送信対策を同時に

SaaS導入が進む一方で、セキュリティ対策に不安がある企業は珍しくありません。また、セキュリティ対策のためにサービス導入を進めたくても、「どのサービスがいいのか」「サービスごとに複数のセキュリティサービスを導入する必要があるのか」「情シスへの負担が増加するのではないか」などの懸念もあり、踏み出せない方も多いのではないのでしょうか。HENNGE Oneは「SSOを中心とするアクセス制御」と「メール誤送信対策」というセキュリティ対策の中でも必ず手をつけるべき二大要素を同時に導入することが可能です。

